

令和4年度第1回 小松市地域公共交通活性化協議会

日 時 令和4年8月4日（木）
11:00～
場 所 小松市役所7階会議室

会 議 次 第

1. 開会挨拶 会長 越田 幸宏

2. 協議事項

- (1) 大杉線・尾小屋線の見直しについて
- (2) 予約型乗合タクシーの運行について

3. 報告事項

- (1) 小松市における2大交通拠点をつなぐ自動運転バスの導入事業連携協定締結について

4. その他

小松市地域公共交通活性化協議会 委員名簿

選 出 区 分	職 名	委員選任役職	氏 名	役職	備考
第4条第2項第1号委員 (住民又は利用者の代表)	小松商工会議所空港・都市政策委員会	委員長	今出 真稔		
	小松市町内会連合会	会計	北川 潔	監事	
	小松市老人クラブ連合会	副会長	下中 孝敏		
	小松市校下女性協議会	会長	久保 由味子		
	加賀地区高等学校校長会	校長	源 義則		
	小松市障害者自立支援協議会	参事	室 久善		
第4条第2項第2号委員 (国及び県の関係行政機関の職員)	国土交通省北陸信越運輸局	交通政策部交通企画課長	玉巻 史成		
	国土交通省北陸信越運輸局石川運輸支局	企画調整担当首席運輸企画専門官	打越 利子		
	石川県企画振興部新幹線・交通対策監室交通政策課	主幹	島内 理名		
	石川県南加賀土木総合事務所	維持管理課長	曾宇谷 憲一		
	石川県小松警察署	交通課長	西尾 恵和		
第4条第2項第3号委員 (旅客自動車運送事業者及びその関係団体の職員)	北鉄加賀バス(株)	代表取締役	新谷 良二		
	北鉄白山バス(株)	取締役社長	松田 隆一		
	日本海観光バス(株)	総務部長	西出 揮一郎		
	小松地区タクシー協会	会長	道端 隆一		
第4条第2項第4号委員 (旅客自動車運送事業者の事業用自動車の運転者が組織する団体)	北陸鉄道労働組合	北鉄加賀バス小松職場委員	荒木 仁		
第4条第2項第5号委員 (市職員)	小松市	副市長	越田 幸宏	会長	
	小松市	都市創造部長	西村 章	監事	
	小松市教育委員会	教育次長	林 政憲		
第4条第2項第6号委員 (市長が必要と認める者)	公立大学法人公立小松大学	教授	中子 富貴子	副会長	
	西日本旅客鉄道(株)金沢支社	地域共生室交通企画室長	鹿野 剛史		
	日野自動車(株)	CASE事業企画部	松山 耕輔		
	石川県レンタカー協会	常務理事兼事務局長	野村 光洋		
	(一社)こまつ観光物産ネットワーク	事務局長	青木 信人		

任期:令和4年7月1日～令和6年6月30日

大杉線・尾小屋線の見直しについて

1. 見直しの趣旨

北鉄加賀バス(株)が運行している大杉線及び尾小屋線について、利用客の状況を踏まえて運行経路の一部を廃止及びダイヤ改正するもの。なお、廃止した区間については、代替え交通として予約型乗合タクシーを運行するもの。

2. 見直しの内容

(1) 尾小屋線

- 廃止区間：金平から尾小屋までの区間
- 新規区間：金平から特別支援学校の区間
- 新設バス停：ほのぼの松東、特別支援学校



(2) 大杉線

- 廃止区間：せせらぎの郷から大杉上町



3. 新規路線、停留所

(1) 尾小屋線

○新規路線

金平～特別支援学校

- ・ほのぼの松東

○新設・移設停留所

- ・ほのぼの松東（新設）
- ・特別支援学校（新設）
- ・金平（移設）

(2) 大杉線

新規路線、停留所なし

4. ダイヤ変更について

尾小屋線、大杉線のダイヤについて、廃止区間で乗合タクシーを運行し、双方の路線を繋ぐことで双方の路線を利用できるようになるため、両線の運行時刻を利用しやすいダイヤに見直すもの。

<尾小屋線>

<現行>						
尾小屋線 Ogoya bus line						
尾小屋行き to Ogoya						
バス停	小松駅 Komatsu Station	市立高校前 Komatsu Municipal High School	やわたメディカル センター Yawata Medical Center	千松閣 Sensyokaku	金平 Kanahira	
発着	8:00 13:20	8:10 13:30	8:21 13:41	8:25 13:45	8:33 13:53	
小松駅行き to Komatsu Station						
バス停	金平 Kanahira	千松閣 Sensyokaku	やわたメディカル センター Yawata Medical Center	市立高校前 Komatsu Municipal High School	小松駅 Komatsu Station	
発着	9:08 14:23 16:02	9:16 14:31 16:10	9:20 14:35 16:14 18:52	9:31 14:46 16:25 19:03	9:45 15:00 16:36 19:14	

→

<変更後>						
尾小屋線 Ogoya bus line						
尾小屋行き to Ogoya						
バス停	小松駅 Komatsu Station	市立高校前 Komatsu Municipal High School	やわたメディカル センター Yawata Medical Center	千松閣 Sensyokaku	金平 Kanahira	特別支援学校 Iwagami
発着	8:00 15:30	8:10 15:40	8:21 15:51	8:25 15:55	8:32 16:02	8:35 16:05
小松駅行き to Komatsu Station						
バス停	特別支援学校 Iwagami	金平 Kanahira	千松閣 Sensyokaku	やわたメディカル センター Yawata Medical Center	市立高校前 Komatsu Municipal High School	小松駅 Komatsu Station
発着	8:40 14:00 16:10	8:41 14:01 16:11	8:49 14:09 16:19	8:53 14:13 16:23 18:52	9:04 14:24 16:34 19:03	9:15 14:35 16:45 19:14

<大杉線>

<現行>

大杉線 Osugi bus line						
大杉行き to Osugi						
バス停	市民病院 Komatsu Municipal Hospital	小松駅 Komatsu Station	小松郵便局前 Komatsu Post Office	千木野団地 Segino Danchi	江指 Ezashi	せせらぎの郷 Seseragi no Sato Recreation Center
(注1)		8:03	8:06	8:32	8:40	8:46
(注2) 発着		8:03	8:06	8:20	8:28	8:34
	13:35	13:40	13:43	13:57	14:05	14:11
		16:30	16:33	16:47	16:55	17:01
小松駅行き to Komatsu Station						
バス停	せせらぎの郷 Seseragi no Sato Recreation Center	江指 Ezashi	千木野団地 Segino Danchi	小松郵便局前 Komatsu Post Office	小松駅 Komatsu Station	市民病院 Komatsu Municipal Hospital
発着	9:32	9:38	9:46	10:00	10:05	9:35
	14:57	15:03	15:11	15:25	15:30	
	17:23	17:29	17:37	17:51	17:56	

(注2) 注1以外の日に運行

<変更後>

大杉線 Osugi bus line						
大杉行き to Osugi						
バス停	市民病院 Komatsu Municipal Hospital	小松駅 Komatsu Station	小松郵便局前 Komatsu Post Office	千木野団地 Segino Danchi	江指 Ezashi	せせらぎの郷 Seseragi no Sato Recreation Center
(注1)		8:03	8:06	8:32	8:40	8:50
(注2) 発着		8:03	8:06	8:20	8:28	8:37
	14:25	14:30	14:33	14:47	14:55	15:05
		16:30	16:33	16:47	16:55	17:05
小松駅行き to Komatsu Station						
バス停	せせらぎの郷 Seseragi no Sato Recreation Center	江指 Ezashi	千木野団地 Segino Danchi	小松郵便局前 Komatsu Post Office	小松駅 Komatsu Station	市民病院 Komatsu Municipal Hospital
発着	8:55	9:01	9:08	9:22	9:25	9:35
	15:10	15:16	15:23	15:37	15:44	
	17:10	17:16	17:23	17:37	17:44	

(注2) 注1以外の日に運行

5. 改定予定時期

令和4年秋開始予定

予約型乗合タクシーの運行について

1. 概要

尾小屋線、大杉線において、利用が少ない区間を廃止し、代替交通として双方の路線を繋ぐ予約型乗合タクシーを運行することで、尾小屋地区、大杉地区の住民が尾小屋線、大杉線の双方を利用できるようにすることで利便性向上を図る。

2. 運行内容

(1) 運行ルート

○ 尾小屋ルート

江指 ～ ほのぼの松東 ～ 尾小屋

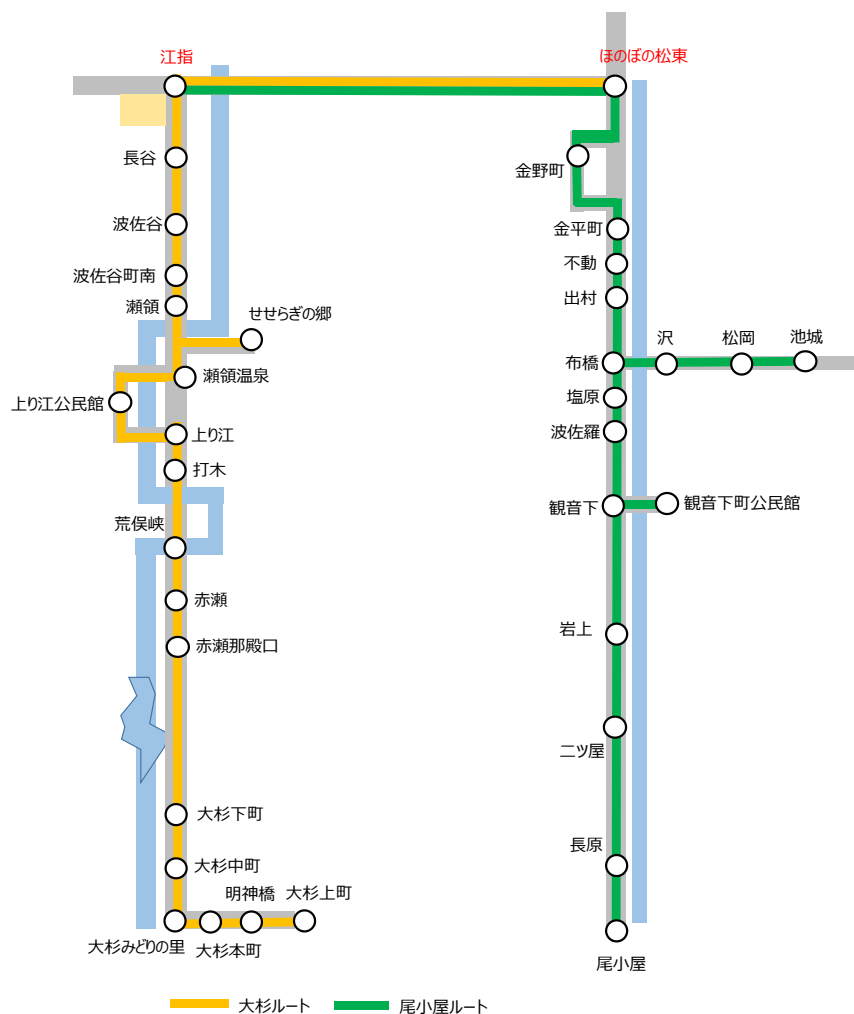
※江指で大杉線、ほのぼの松東で尾小屋線と乗換

○ 大杉ルート

ほのぼの松東 ～ 江指 ～ せせらぎの郷 ～ 大杉上町

※ほのぼの松東で尾小屋線、江指又はせせらぎの郷で大杉線と乗換

<運行ルート案>



(2)乗降場所

既存のバス停留所及び各町内が希望する箇所

(3)利用方法

予約制（電話での予約）

(4)利用料金

ゾーン制による料金

1ゾーン：200円 2ゾーン：400円 3ゾーン：500円

運賃	乗車区間が1つのゾーンの場合は	一律	200円（小学生及び障がい者	100円）																
	乗車区間が2つのゾーンの場合は	一律	400円（小学生及び障がい者	200円）																
	乗車区間が3つのゾーンの場合は	一律	500円（小学生及び障がい者	250円）																
<尾小屋ルート>																				
	尾小屋	長原	二ツ屋	岩上	観音下町公民館	観音下	波佐羅	塩原	池城	松岡	沢	布橋	出村	不動	金平	金野町	ほのほの松東	江指		
1 区間	200円		200円										200円							
2 区間	400円										400円									
3 区間	500円																			
<大杉ルート>																				
	大杉上町	明神橋	大杉本町	大杉みどりの里	大杉中町	大杉下町	赤瀬那殿口	赤瀬	荒俣峡	打木	上り江	上り江公民館	瀬領温泉	せせらぎの郷	瀬領	波佐谷町南	波佐谷	長谷	江指	ほのほの松東
1 区間	200円				200円								200円							
2 区間	400円												400円							
3 区間	500円																			

(5)運行ダイヤ（案）

『尾小屋ルート』 上り						
停留所	尾小屋	岩上	池城	金平	ほのぼの松東	江指
発着時間	8:10	8:16	8:23	8:31	8:35	8:40
	13:30	13:36	13:43	13:51	13:55	
	14:35	14:41	14:48	14:56	15:00	15:05
『尾小屋ルート』 下り						
停留所	江指	ほのぼの松東	金平	池城	岩上	尾小屋
発着時間	15:00	15:05	15:09	15:17	15:24	15:30
	-	16:05	16:09	16:17	16:24	16:30
	17:00	17:05	17:09	17:17	17:24	17:30

『大杉ルート』 上り						
停留所	大杉上町	赤瀬	せせらぎの郷	波佐谷	江指	ほのぼの松東
発着時間	8:00	8:17	8:24	8:28	8:30	8:35
	13:20	13:37	13:44	13:48	13:50	13:55
	14:35	14:52	14:59	15:03	15:05	-
『大杉ルート』 下り						
停留所	ほのぼの松東	江指	波佐谷	せせらぎの郷	赤瀬	大杉上町
発着時間	-	15:00	15:02	15:06	15:13	15:30
	16:00	16:05	16:07	16:11	16:18	16:35
	-	17:00	17:02	17:06	17:13	17:30

◆バスとの接続（例）

尾小屋⇒小松駅

<乗合タクシー 8:10 尾小屋発>

乗合タクシー	尾小屋	岩上	池城	ほのぼの松東	江指			
	8:10	8:16	8:23	8:35	8:40			
バス(尾小屋線上り)			特別支援学校前	ほのぼの松東	...	千松閣	やわたメディカルセンター	小松駅
			8:40	8:43		8:49	8:53	9:15
バス(大杉線上り)			せせらぎの郷	...	江指	北吉竹	小松駅	市民病院
			8:55		9:01	9:13	9:25	9:35

<乗合タクシー 13:30 尾小屋発>

乗合タクシー	尾小屋	岩上	池城	不動	ほのぼの松東			
	13:30	13:36	13:43	13:50	13:55			
バス(尾小屋線上り)					ほのぼの松東	千松閣	やわたメディカルセンター	小松駅
					14:03	14:09	14:13	14:35

<乗合タクシー 14:35 尾小屋発>

乗合タクシー	尾小屋	岩上	池城	不動	ほのぼの松東	江指		
	14:35	14:41	14:48	14:55	15:00	15:05		
バス(大杉線上り)					せせらぎの郷	江指	北吉竹	小松駅
					15:10	15:16	15:28	15:44

(6)運行事業者

小松タクシー株式会社

(7)開始時期

令和4年秋予定

小松市
BOLDLY 株式会社
株式会社ティアフォー
アイサンテクノロジー株式会社
損害保険ジャパン株式会社

小松市における2大交通拠点をつなぐ 自動運転バスの導入に向けた連携協定を締結

石川県小松市（市長：宮橋 勝栄）、BOLDLY 株式会社（ボードリー、本社：東京都港区、代表取締役社長 兼 CEO:佐治 友基）、株式会社ティアフォー（本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長：武田 一哉）、アイサンテクノロジー株式会社（本社:愛知県名古屋市、代表取締役社長:加藤 淳）及び損害保険ジャパン株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：白川 儀一）の5者は、令和6年に予定される北陸新幹線小松駅開業に合わせ、JR 小松駅・小松空港間のさらなるアクセス向上を図るため、自動運転バスの定常運行の社会実装を軸とした連携協定を、令和4年8月3日に締結しました。

1. 協定締結の趣旨

令和6年の北陸新幹線小松駅開業により、小松市は国際空港小松空港と新幹線小松駅を有する拠点都市へと成長します。

小松市が社会実装を目指す「自動運転バス」は、これら2大交通拠点を快適かつスムーズにつなぎ、来訪者の利便性を向上させるとともに、まちなかへの人の流れを拡大させ、地域全体の発展を支える新時代の交通システムとしての機能を担ってまいります。

今後、未来技術である「自動運転」の実装に向けて取り組むにあたり、小松市及び各分野において我が国有数の技術・ノウハウ・実績を有する企業らの連携による強力な体制のもと事業を推進することを目的に、本連携協定を締結しました。

2. 連携事項

- (1) JR 小松駅・小松空港間において、令和6年までに自動運転レベル2またはレベル3による自動運転バスの定常運行を開始するとともに、令和7年以降に自動運転レベル4での自動運転バスの定常運行の開始を目指すこと
- (2) 自動運転バスを活用した、新しいモビリティサービスの実用化に関すること
- (3) 情報提供及び広報活動に関すること
- (4) その他前条の目的を達成するために必要な事業に関すること

3. 各者の役割

名称	役割
小松市	事業主体
BOLDLY株式会社	プロジェクト全体の進行管理や遠隔監視・運行システム構築等
株式会社ティアフォー	自動運転バス車両及び自動運転システムの提供
アイサンテクノロジー株式会社	高精度三次元地図の作成等
損害保険ジャパン株式会社	リスクアセスメントを含む安全性に関しての支援

各社の概要・本事業における役割

BOLDLY 株式会社

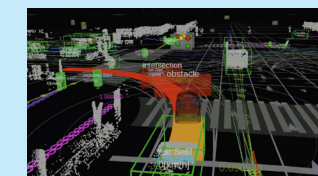
- ・自動運転技術の導入・運用に関するコンサルティング、旅客物流に関するモビリティサービスの開発・運営等の事業を展開
- ・茨城県境町において、国内自治体として初めての自動運転バス定常運行（実用化）事業に携わり、これを実現したほか、国内外120回以上にも及ぶ自動運転実証を実施
- ・開発・提供を行う遠隔監視・運行管理システム「Dispatcher（ディスパッチャー）」は、国内の自動運転バス実証実験において過半数に近いシェアを占める（2020年度実績、BOLDLY調べ）
- ・本事業では、プロジェクト全体の進行管理や遠隔監視・運行システム構築等の役割を担います



「Dispatcher」の画面

株式会社ティアフォー

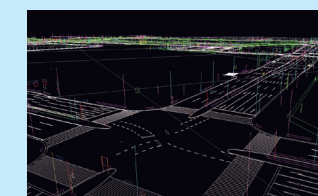
- ・世界初の自動運転オープンソースソフトウェア「Autoware」の開発を主導し、本ソフトウェアを中心とした自動運転プラットフォーム開発事業を展開
- ・自動運転ウェブサービス開発や自動運転システム開発キット販売、自動運転技術の教育事業も展開
- ・Autowareの開発・実用化を進める団体「The Autoware Foundation」を設立（国内外の約60社・団体が参加）し、企業での研究開発と学術研究の相乗効果を創出し、自動運転業界の発展に貢献
- ・安心安全な自動運転実証を支えるインシュアテックソリューション「Level IV Discovery」の一員として、全国延べ100カ所以上の実証実験の実績を有する
- ・本事業では、自動運転バス車両及び自動運転システムの提供に係る役割を担います



「Autoware」の画面

アイサンテクノロジー株式会社

- ・公共測量・登記測量・土木建設業向けCADシステムの設計・開発・販売及びサポート業務、計測機器・モバイルマッピングシステムの販売を行うほか、自動運転に係るコンサルティング事業や自動運転システムの構築・販売、高精度三次元地図作成に関する請負業務やソフトウェア開発業務を展開
- ・国内外約2000以上の自動運転プロジェクトにおける高精度三次元地図作成の実績を有するほか、全国延べ100カ所以上の自動運転実証実験にも携わる
- ・本事業では、高精度三次元地図の作成等の役割を担います



高精度三次元
地図データ作製

損害保険ジャパン株式会社

- ・損害保険事業を幅広く手掛けるほか、自動運転の分野では安心安全を支えるインシュアテックソリューション「Level IV Discovery」の提供を目指し、自動運転の保険に加え、自動運転の走行前のリスクアセスメント、自動運転走行中の見守りと、トラブル時のサポートサービスの社会実装を推進
- ・2022年、国内初のレベル4自動運転サービス向け「自動運転システム提供者専用保険」を開発
- ・株式会社ティアフォー、アイサンテクノロジー株式会社と連携し、西新宿スマートシティや長野県塩尻市をはじめとする様々な自動運転実証実験に参加
- ・本事業では、リスクアセスメントを含む安全性に関しての支援分野を担います



自動運転車事故対応
サービス研究拠点

2 大交通拠点を核とした
地域の成長を支える新しい交通インフラ

“グローバル時代に時めく 日本海側の拠点都市こまつ” に向けて

小松市内に立地する小松空港は、年間約 180 万人（令和元年度）が利用する玄関口であり、日本海側有数の空の交通拠点となっています。2024 年春には、北陸新幹線小松駅が開業し、小松市は空港と新幹線駅という 2 大交通拠点を擁する全国的にも数少ない都市となります。

本事業は、約 4.4 km の位置関係にある空港と新幹線駅を自動運転バスにより効果的に接続することにより、来訪者のアクセス環境を向上させ、交通結節点としての都市機能を高めることを目的としております。また、空港－新幹線駅間のアクセス向上とともに、まちなかへの人の流れの創出にも寄与することで、周辺部も含めたエリア全体の成長・発展を支える新しい都市交通基盤を目指すものです。



小松空港（上）と
建設が進められる新幹線小松駅（下）

未来型の交通システム実装への挑戦

地域全体の成長を支える 持続可能な新しい交通システム

人口減少や少子高齢化により、交通分野では、将来的に運転手の高齢化や人員不足が問題化することが危惧されています。その対応策の一つに自動運転技術があり、現在、全国各地で自動運転バスの実証実験が進められている一方、地域実装まで取組が進められている事例は少数に留まっています。

本事業は、技術の実証に留まらず、主要バス路線での地域実装（2024 年春）を目的とするものであり、最先端のデジタル技術の活用によって将来的な運転手不足にも対応できる効率化・省人化された交通インフラの確立を目指すものです。

また、小松市は 2019 年 7 月に、国から「SDGs 未来都市」に選定され、これまで持続可能な地域づくりに向けた各種取組を進めてまいりました。2021 年 8 月には 2050 年までに二酸化炭素排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ宣言」を行い、環境に配慮したまちづくりにも取り組んでまいりました。本事業においても、環境配慮型の交通システムへの転換も目的の一つに位置付け、EV バスを活用することを想定しています。

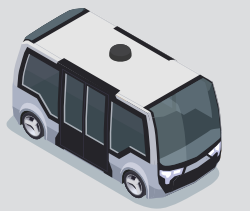
今後、人口減少や少子高齢化、環境問題にも対応した『持続可能な未来型の交通システム』を小松市から発信し、我が国の交通インフラの進化にも寄与できるプロジェクトとなることを目指します。



運行ルートのイメージ

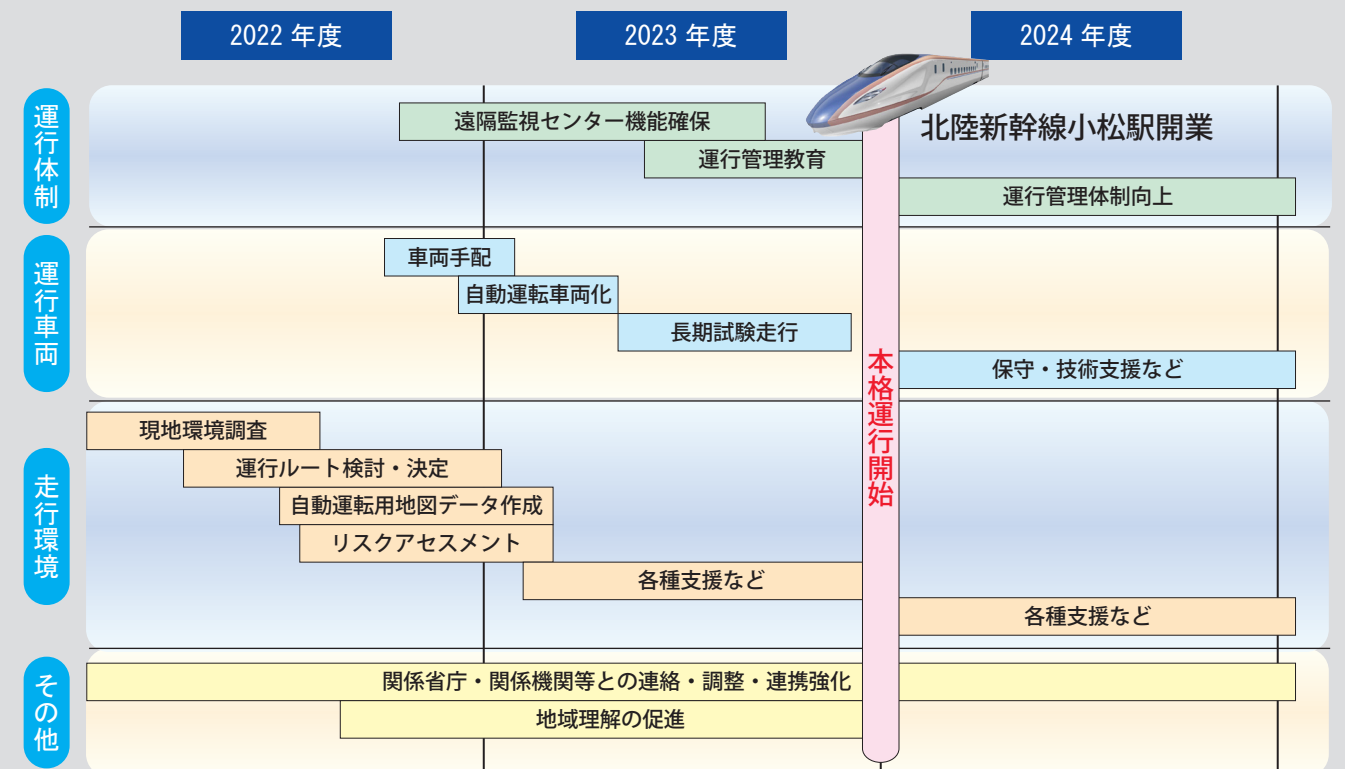
事業概要

- 事業名称 小松市における 2 大交通拠点をつなぐ自動運転バスの導入事業
- 運行区間 J R 小松駅 ～ 小松空港 片道 4.4 km
- 事業期間 令和 2 年度 ～
- 運行車両 小型 EV バス（座席 11 席程度）
※車両については今後検討
※空港や新幹線の利用目的（旅行・ビジネスなど）を踏まえ、大型の荷物と共に乗車できる車両規模を想定



■ 採択等の情報 内閣府 未来技術社会実装事業（令和 2 年度）

■ 事業スケジュール



快適スムーズなアクセス実現

- ・ 2 大交通拠点を直結
- ・ 移動に係る利便性を改善・強化（運行間隔、本数、時間帯）

交通システム強化

- ・ 拠点間をダイレクトに接続
- ・ 運行ダイヤの最適化

未来技術・デジタル活用

- ・ 将来的な運転手不足への対応
- ・ 交通分野の効率化・省人化
- ・ 都市のデジタル化・スマートシティ

自動運転技術

- ・ 自動運転システム
- ・ 遠隔監視・運行管理システム
- ・ 高精度三次元地図
- ・ 安心安全の総合的な確保

SDGs・ゼロカーボンシティ

- ・ 市関連事業における脱炭素化
- ・ 交通分野の次世代自動車への転換

電気自動車（EV）

- ・ EV バスの導入

5 者による連携体制のもと、
事業を強力に推進

